

LPM-HDG V02A

PCMCIA TYPE II HARDDISK Card

ハードディスクカード ユーザーズマニュアル

LPM-HDxG シリーズ

PC Card Product

Logitec

目次

取扱い上のご注意	1
ごあいさつ	3
ご注意	3
第1章 製品のご紹介	6
1.1 製品の概要	6
1.2 使用環境について	7
1.3 各部の名称と接続方法	8
第2章 使用について	9
2.1 Windows XP の場合	9
2.2 Windows Me の場合	14
2.3 Windows 98 の場合	19
2.4 Windows 95 の場合	26
2.5 Windows 2000 の場合	34
2.6 Mac OS の場合	39
第3章 トラブルシューティング	42
3.1 動作しないときには	42
ハードウェア仕様	44

付属品の確認

ハードディスクカード	1 枚
専用ケース	1 個
ユーティリティディスク (FD)	1 枚
ハードディスクカード・ユーザーズマニュアル	本書
保証書 / ユーザー登録カード	1 枚

* Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。Macintosh®、Mac OSは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

取扱い上のご注意



注意

この項目を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

万一、異常が発生したときは。

本製品もしくはソコン本体から異臭、異音や煙が出たときは、ただちにパソコン本体の電源を切り、本製品を取り出して販売店にご相談ください。



濡れた状態で使用しないでください。

本製品に水などの液体が付着した状態でPCカードスロットに装着しないでください。また、水などの液体がかかりやすい場所で使用しないでください。故障、感電、火災の原因となります。



絶対に分解 / 改造しないでください。

感電や火災の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



取り出しの際は火傷に注意してください。

パソコン本体に本製品を接続して使用していると、本製品がかなり高温になる場合があります。取り出しの際には、火傷などに注意してください。



PCカードスロット以外に装着しないでください。

本製品はPCMCIA 2.1/JEIDA 4.2準拠のPCカードです。これ以外の用途に設計されたカードスロットに装着すると、規格の違いから故障や感電の原因となる場合があります。





その他

この項目を無視して取扱いを誤った場合、使用者が物的損害を負う危険性、もしくは本製品自体を損傷する危険性がある項目です。

以下のような場所では保管 / 使用しないでください。

- ・ 静電気が発生しやすい場所
- ・ 直射日光が当たる場所
- ・ 極端に熱い場所や寒い場所
- ・ ホコリの多い場所
- ・ 強い磁気を発するものの近く
- ・ 小児の手の触れやすい場所
- ・ 落下の危険性があるような不安定な場所

温度 / 湿度が急激に変化すると、内部結露が発生して誤動作の原因となります。気温の低い場所から高い場所に移動したときは、しばらく放置して周囲の気温と同程度になってからご使用ください。

コネクタ部にはなるべく手を触れないでください。

落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、本製品をひねったり、表面を強く押さないでください。本製品を持つときは、外側の端を挟むように持ってください。

本製品を使用しないときは、なるべく専用のキャリングケースに入れて保管してください。

本製品には出荷時あらかじめ貼ってあるラベル以外のシール等を貼らないでください。また、ラベルをはがさないでください。ラベルや本製品の表面に、先の固いペンなどで書き込みを行わないでください。

本製品が汚れた場合は、水または中性洗剤を少量含ませたやわらかい布で軽くふき取ってください。ベンジンやシンナー等は使用しないでください。また、力をこめてふかないでください。

動作中に本製品を取り出したり、電源を切らないでください。

本製品に保存したデータは定期的にバックアップを行ってください。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用してハードディスクなどに収納したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様 お客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

第 1 章

製品のご紹介

1 . 1 製品の概要

本製品はノートパソコン等の PC カードスロットに内蔵できる大容量ハードディスクカードです。大容量データのバックアップ、画像 / 動画データの保存、持ち運び等に最適です。

本製品の特徴

PCMCIA 2.1/JEIDA 4.2 仕様に準拠した TYPE の PC カードです。コンパクトなサイズは携帯にとっても便利です。

PC カードスロットでの使用の他に、弊社 USB カードリーダー / ライター (LPM-CA20USB2, LMC-CA30MSU) や、PC カードアダプタ (LPM-CA20FP) でも使用できますので、デスクトップパソコンとのデータ共有も可能です。

動作時 150G、保管時 1,000G と耐衝撃性に優れています。

電源は PC カードスロットより供給されますので、AC アダプタ等の接続は不要です。電圧は 3.3V、5V の両方に対応しています。(自動切替)

OS の標準ドライバで動作しますので、インストールが簡単です。

Windows / Macintosh のどちらの環境でも使用できます。



ご注意

本製品をノートパソコンの PC カードスロットに接続すると、消費電力が大きくなります。本製品使用時は、なるべくパソコン本体に AC アダプタ等を接続してください。

1.2 使用環境について

対応パソコン

本製品は、以下のパソコンに接続して使用することができます。いずれも、PCMCIA 2.1/JEIDA 4.2 に準拠の PC カードスロットを搭載している機種に限ります。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ株式会社	Macintosh PowerBook シリーズ



ご注意

発売されているすべての機種で動作確認を行うことは不可能です。一部に対応できない機種が存在する可能性があることは、あらかじめご承知おきください。

対応 OS

本製品は以下の OS で使用することができます。すべて日本語 OS のみに限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

Windows Me , 98/95
Windows XP , 2000 Professional
Mac OS 8.6 ~ Mac OS 9.2.2
Mac OS X 10.1.3 ~ Mac OS X 10.1.5
Mac OS X 10.2 以降

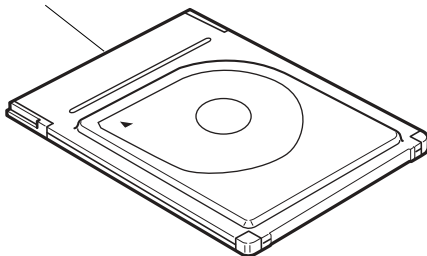


ご注意

LPM-HD5G を Windows 95 で使用する場合は、Windows 95 の B / C バージョン (OSR2 以降) が必要です。

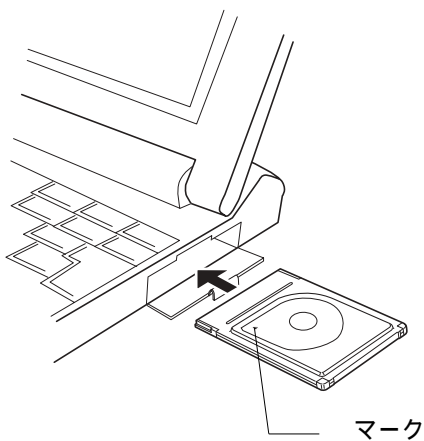
1.3 各部の名称と接続方法

PCMCIA コネクタ



PCMCIA コネクタ

パソコン本体のPCカードスロットに接続する部分です。
この部分にはなるべく手を触れないでください。接続時は
マークの向きでPCカードスロットに挿入してください。



第2章 使用について

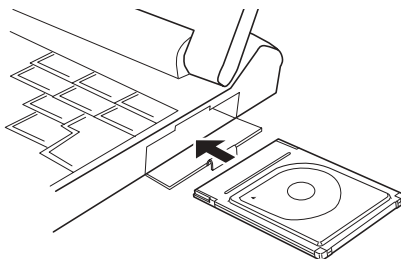
2.1 Windows® XP の場合

2.1.1 ドライバのインストール

Windows XPをご使用の場合、以下の手順で本製品を接続し、付属のドライバをインストールしてください。

1 本製品を接続していない状態でWindows XPのシステムを起動し、Windows XPのシステムにログオンしてください。

2 ログオンが完了したら、本製品を接続してください。



3 本製品がプラグ&プレイで認識されて、自動的にOS標準のドライバがインストールされます。(この間、ユーザーが操作を行う必要はありません。)

4 インストールが完了したら、最後に結果を確認します。「コントロールパネル」 「システム」を起動してください。

5 「システムのプロパティ」のウィンドウが表示されたら、「ハードウェア」タブをクリックして、表示される「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。

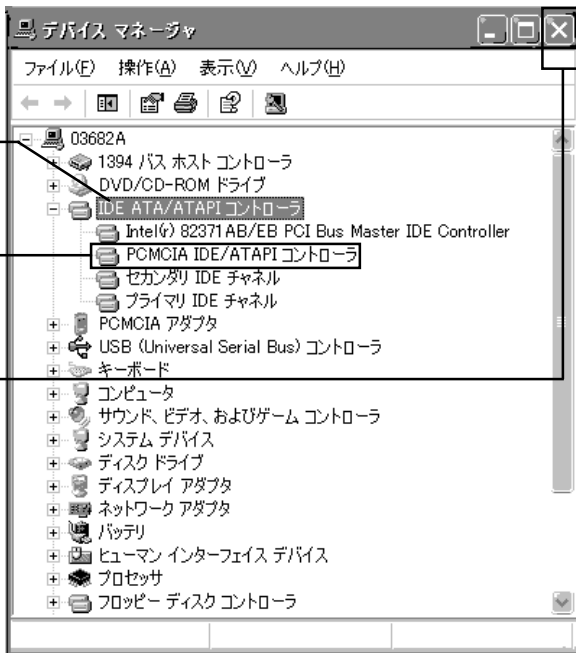
6

接続された機器の一覧表が表示されます。ここで「IDE ATA/ATAPI コントローラ」の下に、「PCMCIA IDE/ATAPI コントローラ」が登録されていることを確認してください。

1. 「IDE ATA/ATAPI コントローラ」をダブルクリックして

2. 「PCMCIA IDE/ATAPI コントローラ」と表示されることを確認

3. 確認できたらクローズボックスをクリック
システムのプロパティも終了してください



以上で作業は終了です。本製品はフォーマット済みで出荷されているため、ここまでの作業が正常に終了すると、「マイコンピュータ」に新規のハードディスクのアイコンが登録されます。

新規のハードディスクのアイコンをダブルクリックすると、本製品にアクセスすることができます。

2.1.2 本製品を取り外す場合

本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

1

本製品が接続されると、画面右下隅のタスクトレイに右のようなアイコンが表示されます。本製品を取り外す場合は、このアイコンをダブルクリックしてください。

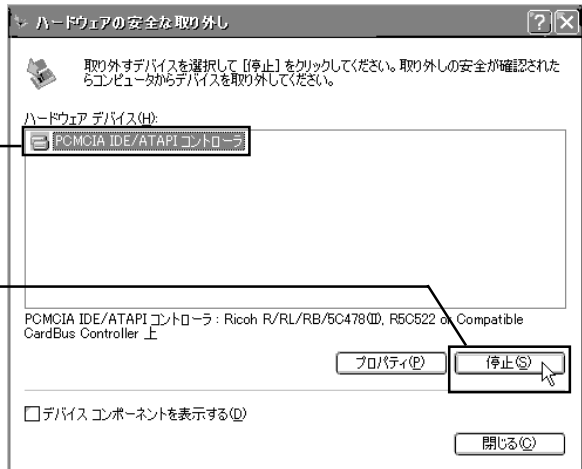


2

以下のようなウィンドウが表示されます。

1. PCMCIA IDE/ATAPI
コントローラが選択さ
れている状態で・・・

2. 「停止」をクリック。



3

「ハードウェアデバイスの停止」のウィンドウが表示されますので、OK ボタンをクリックして、本製品を取り出してください。

2 . 1 . 3 本製品を再フォーマットしたい場合は

本製品はフォーマット済みの状態で出荷されていますので、通常の場合フォーマットは必要ありません。もし何かの原因で本製品を再フォーマットし、出荷時の状態に戻したい場合は以下の手順に従ってください。

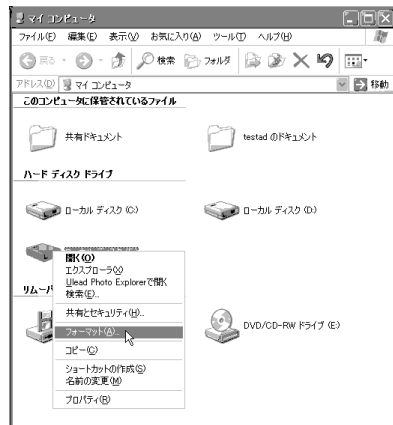


ご注意

- ・ フォーマットを行うと、本製品に保存されたデータはすべて失われ、復旧することはできません。必要なデータはバックアップしてからフォーマットを行ってください。
- ・ 本製品のようなハードディスクカードでは、パーティションを分割することはできません。
- ・ 本製品をフォーマットする場合、システム起動時に管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

1

「マイコンピュータ」を開いて、本製品のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「フォーマット」を選択してください。



2

右のウィンドウが表示されます。必要に応じて設定等を行い、「開始」をクリックしてください。



3

フォーマットが開始されます。表示されるメッセージにしたがって作業を行ってください。

2.2 Windows® Me の場合

2.2.1 ドライバのインストール

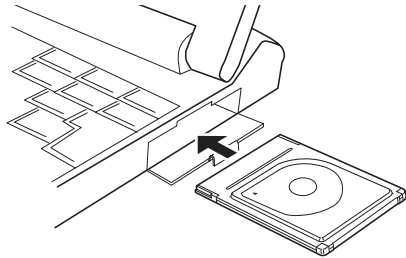
本製品をWindows Meで使用する場合は以下の手順で付属のドライバをインストールしてください。

1

本製品が接続されていない状態でWindows Meのシステムを起動してください。

2

システム起動が完了したら、本製品を接続してください。



3

本製品がプラグ&プレイで認識されて、新しいハードウェアの追加ウィザードが起動し、右下のウィンドウが表示されます。

「適切なドライバ...」が選択されていることを確認して・・・



「次へ」をクリック

4

自動的にOS標準のドライバがインストールされ、以下のウィンドウが表示されます。



「完了」をクリック

5

最後に接続 / インストール結果を確認します。「マイコンピュータ」を開いて、新規のハードディスクドライブが登録されていることを確認してください。



新規のハードディスク
ドライブ

ドライブが確認できたら作業は終了です。本製品はフォーマット済みで出荷されていますので、このアイコンをダブルクリックすると、すぐに本製品にアクセスすることができます。

2.2.2 本製品を取り外す場合

本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

1

本製品が接続されると、画面右下隅のタスクトレイに以下のようなアイコンが表示されます。本製品を取り外す場合は、このアイコンをダブルクリックしてください。

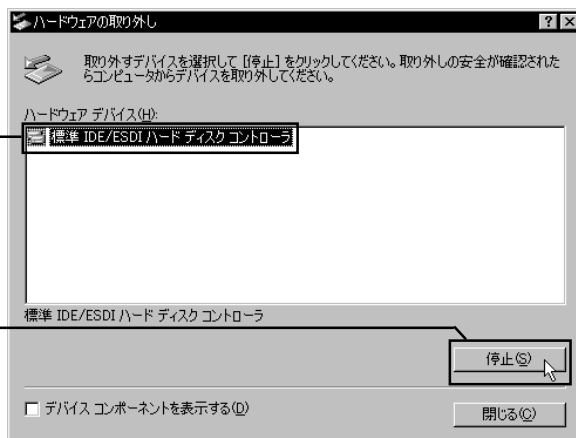


2

以下のようなウィンドウが表示されます。

1. 標準 IDE/ESDI ハードディスクコントローラが選択されている状態で・・・

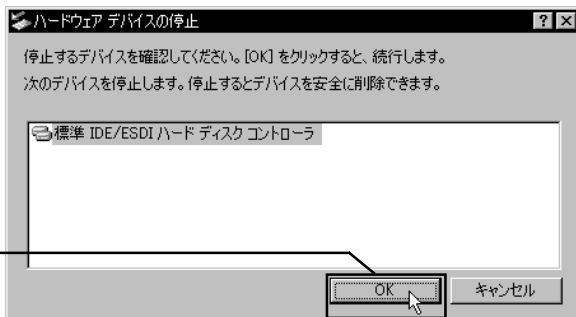
2. 「停止」をクリック。



3

以下のウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック



4

本製品を安全に取り外すことができることを示すメッセージが表示されますので、OK ボタンをクリックして、本製品を取り出してください。

2.2.3 本製品を再フォーマットしたい場合は

本製品はフォーマット済みの状態で出荷されていますので、通常の場合フォーマットは必要ありません。もし何かの原因で本製品を再フォーマットし、出荷時の状態に戻したい場合は以下の手順に従ってください。



ご注意

- ・フォーマットを行うと、本製品に保存されたデータはすべて失われ、復旧することはできません。必要なデータはバックアップしてからフォーマットを行ってください。
- ・本製品のようなハードディスクカードでは、パーティションを分割することはできません。

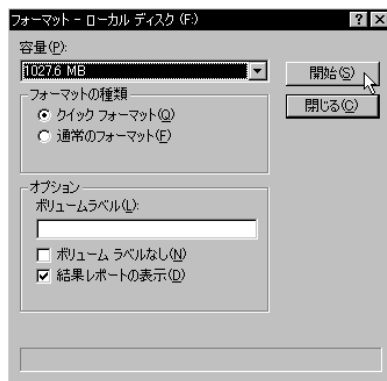
1

「マイコンピュータ」を開いて、本製品のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「フォーマット」を選択してください。



2

右のウィンドウが表示されます。必要に応じて設定等を行い、「開始」をクリックしてください。



3

フォーマットが開始されます。表示されるメッセージにしたがって作業を行ってください。

2.3 Windows® 98 の場合

2.3.1 ドライバのインストール

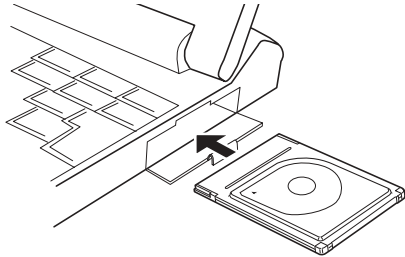
Windows 98をご使用の場合は、以下の手順で本製品を接続し、付属ドライバをインストールしてください。

1

本製品が接続されていない状態で Windows 98 のシステムを起動してください。

2

システム起動が完了したら、本製品を接続します。

**3**

本製品がプラグ&プレイで認識されて、新しいハードウェアの追加ウィザードが起動します。



4

1. 「使用中のデバイスに・・・」が選択されている状態で

2. 「次へ」をクリック



5

1. すべてのチェックボックスからチェックマークが外されている状態で・・・

2. 「次へ」をクリック



6

1. 「更新されたドライバ・・・」が選択されている状態で

2. 「次へ」をクリック



7



「次へ」をクリック

8

OSの標準ドライバがインストールされます。インストールが完了すると、右下のウィンドウが表示されます。



「完了」をクリック

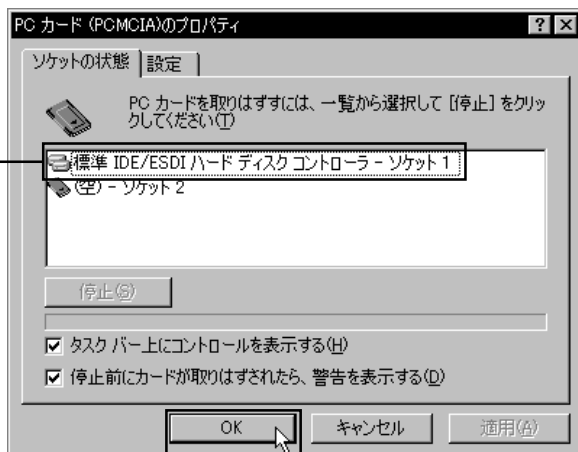
9

最後にインストール結果を確認します。「コントロールパネル」「PCカード (PCMCIA)」を起動してください。

10

以下のウィンドウが表示されたら、「標準 IDE/ESDI ハードディスクコントローラ」と表示されていることを確認してください。

1. この部分を確認します



2. 確認が終了したら、OK をクリック。

以上で作業は終了です。本製品はフォーマット済みで出荷されているため、ここまでの作業が正常に終了すると、「マイコンピュータ」に新規のハードディスクのアイコンが登録されます。新規のハードディスクのアイコンをダブルクリックすると、本製品にアクセスすることができます。

2.3.2 本製品を取り外す場合

本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

1

本製品が接続されると、画面右下隅のタスクトレイに以下のようなアイコンが表示されます。本製品を取り外す場合は、このアイコンをダブルクリックしてください。



2

以下のようなウィンドウが表示されます。

1. 標準 IDE/ESDI ハードディスクコントローラが選択されている状態で・・・

2. 「停止」をクリック。



3

本製品を安全に取り外すことができることを示すメッセージが表示されますので、OK ボタンをクリックして、本製品を取り出してください。

2 . 3 . 3 本製品を再フォーマットしたい場合は

本製品はフォーマット済みの状態で出荷されていますので、通常の場合フォーマットは必要ありません。もし何かの原因で本製品を再フォーマットし、出荷時の状態に戻したい場合は以下の手順に従ってください。



ご注意

- ・フォーマットを行うと、本製品に保存されたデータはすべて失われ、復旧することはできません。必要なデータはバックアップしてからフォーマットを行ってください。
- ・本製品のようなハードディスクカードでは、パーティションを分割することはできません。

1

「マイコンピュータ」を開いて、本製品のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「フォーマット」を選択してください。



2

右のウィンドウが表示されます。必要に応じて設定等を行い、「開始」をクリックしてください。



3

フォーマットが開始されます。表示されるメッセージにしたがって作業を行ってください。

2 . 4 Windows® 95 の場合

2 . 4 . 1 ドライバのインストール

Windows 95 のバージョンについて

Windows 95 には内部バージョンがあり、これによってドライバのインストール方法が 2 種類に別れます。内部バージョンを確認するには、「コントロールパネル」から「システム」を起動して、表示されるシステムバージョンを確認してください。

システムバージョン



- ・システムバージョンが「4.00.950」または「4.00.950a」と表示されるものを、本書では「初期 / aバージョン」と呼びます。
- ・システムバージョンが「4.00.950B」または「4.00.950C」と表示されるものは Windows 95 のプレインストールモデルで見られるもの（OSR2.0 / OSR2.1 / OSR2.5）です。本書では「B / Cバージョン」と呼びます。

あらかじめ内部バージョンを確認し、以下の説明は内部バージョンに応じて適切な方をお読みください。



ご注意

LPM-HD5G を Windows 95 で使用する場合は、Windows 95 の B / Cバージョン（OSR2 以降）が必要です。

初期 / aバージョンの場合

Windows 95 の初期 / aバージョンをご使用の場合は、以下の手順で本製品を接続し、付属のドライバをインストールしてください。

1

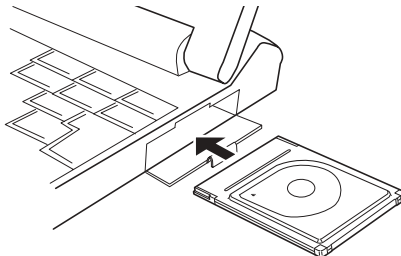
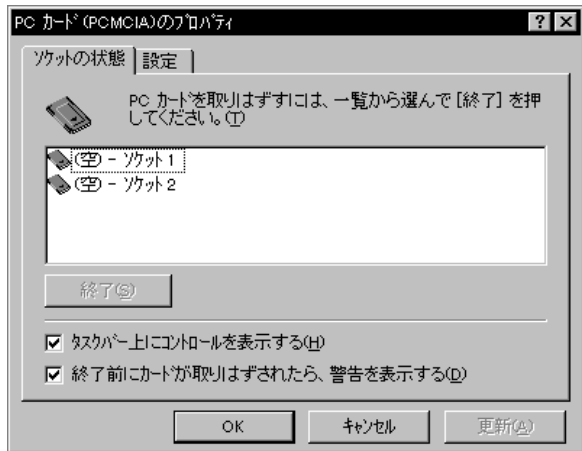
本製品を接続していない状態で、Windows 95 のシステムを起動してください。

2

システムの起動が完了したら、「コントロールパネル」 「PCMCIA (PCカード)」を起動してください。

3

右下のウィンドウが表示されたら、本製品を接続してください。

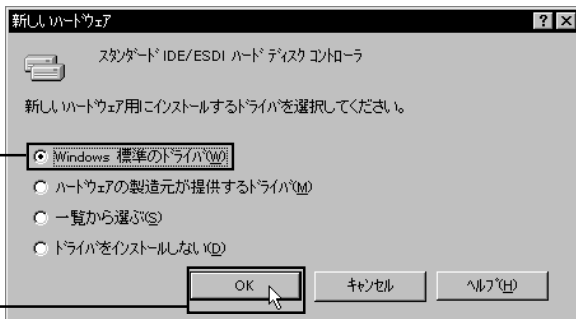


4

本製品がプラグ&プレイで認識され、右下のウィンドウが表示されます。

1. 「Windows 標準のドライバ」が選択されている状態

2. OK をクリック

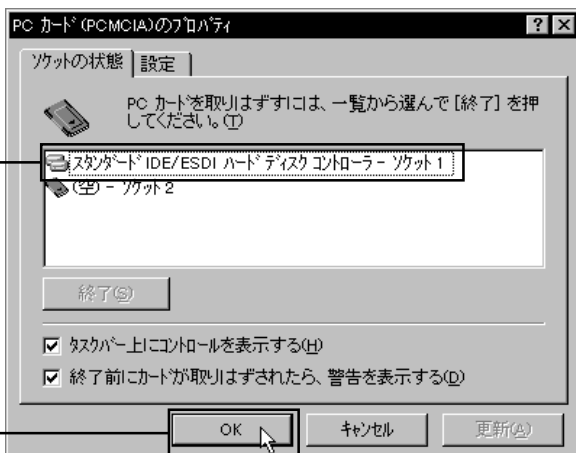


5

Windows 標準のドライバがインストールされます。「スタンダード IDE/ESDI ハードディスクコントローラ」と表示されることを確認してください。

1. この部分を確認します

2. 確認が終了したら、OK をクリック。



以上で作業は終了です。本製品はフォーマット済みで出荷されているため、ここまでの作業が正常に終了すると、「マイコンピュータ」に新規のハードディスクのアイコンが登録されます。

新規のハードディスクのアイコンをダブルクリックすると、本製品にアクセスすることができます。

B / Cバージョンの場合

Windows 95のB / Cバージョンをご使用の場合は、以下の手順で本製品を接続し、付属のドライバをインストールしてください。

1

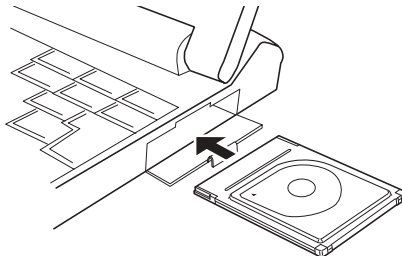
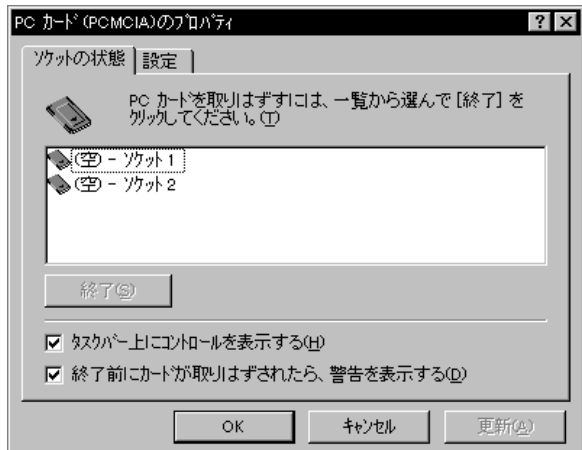
本製品を接続していない状態で、Windows 95のシステムを起動してください。

2

システムの起動が完了したら、「コントロールパネル」 「PCMCIA (PCカード)」を起動してください。

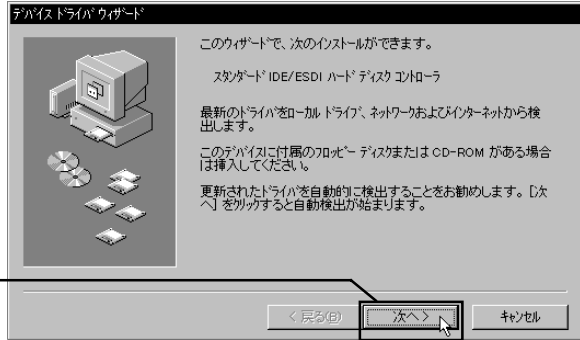
3

右下のウィンドウが表示されたら、本製品を接続してください。



4

PCカードがプラグ & プレイで認識されて、デバイスドライバウィザードが起動します。



「次へ」をクリック

5

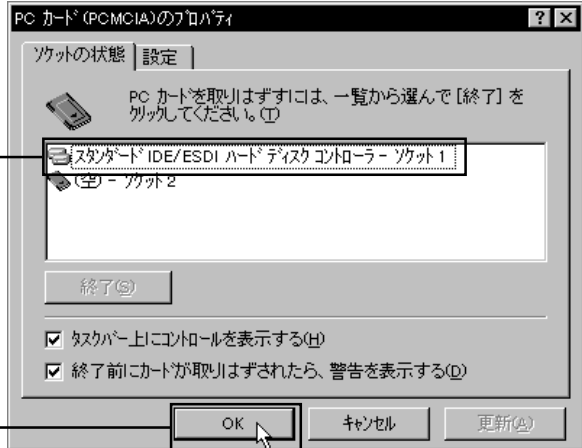


「完了」をクリック

6

Windows 標準のドライバがインストールされます。「スタンダード IDE/ESDI ハードディスクコントローラ」と表示されることを確認してください。

1. この部分を確認します



2. 確認が終了したら、OK をクリック。

以上で作業は終了です。本製品はフォーマット済みで出荷されているため、ここまでの作業が正常に終了すると、「マイコンピュータ」に新規のハードディスクのアイコンが登録されます。

新規のハードディスクのアイコンをダブルクリックすると、本製品にアクセスすることができます。

2.4.2 本製品を取り外す場合

本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

1

本製品が接続されると、画面右下隅のタスクトレイに右のようなアイコンが表示されます。本製品を取り外す場合は、このアイコンをダブルクリックしてください。



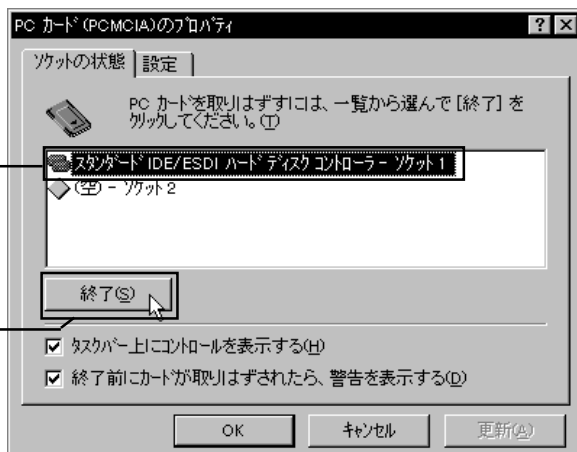
アイコン

2

以下のようなウィンドウが表示されます。

1. 標準 IDE/ESDI ハード
ディスクコントローラ
が選択されている状態
で・・・

2. 「終了」をクリック。



3

本製品を安全に取り外すことができることを示すメッセージが表示されますので、OK ボタンをクリックして、本製品を取り出してください。

2 . 4 . 3 本製品を再フォーマットしたい場合は

本製品はフォーマット済みの状態で出荷されていますので、通常の場合フォーマットは必要ありません。もし何かの原因で本製品を再フォーマットし、出荷時の状態に戻したい場合は以下の手順に従ってください。



ご注意

- ・ フォーマットを行うと、本製品に保存されたデータはすべて失われ、復旧することはできません。必要なデータはバックアップしてからフォーマットを行ってください。
- ・ 本製品のようなハードディスクカードでは、パーティションを分割することはできません。

1

「マイコンピュータ」を開いて、本製品のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「フォーマット」を選択してください。



2

右のウィンドウが表示されます。必要に応じて設定等を行い、「スタート」をクリックしてください。



3

フォーマットが開始されます。表示されるメッセージにしたがって作業を行ってください。

2 . 5 Windows® 2000 の場合

2 . 5 . 1 ドライバのインストール

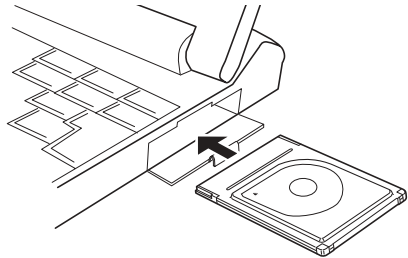
Windows 2000 をご使用の場合、以下の手順で本製品を接続し、付属のドライバをインストールしてください。

1

本製品を接続していない状態で Windows 2000 のシステムを起動し、Windows 2000 のシステムにログオンしてください。

2

ログオンが完了したら、本製品を接続してください。



3

本製品がプラグ&プレイで認識されて、自動的に OS 標準のドライバがインストールされます。(この間、ユーザーが操作を行う必要はありません。)

4

インストールが完了したら、最後に結果を確認します。「コントロールパネル」 「システム」を起動してください。

5

「システムのプロパティ」のウィンドウが表示されたら、「ハードウェア」タブをクリックして、表示される「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。

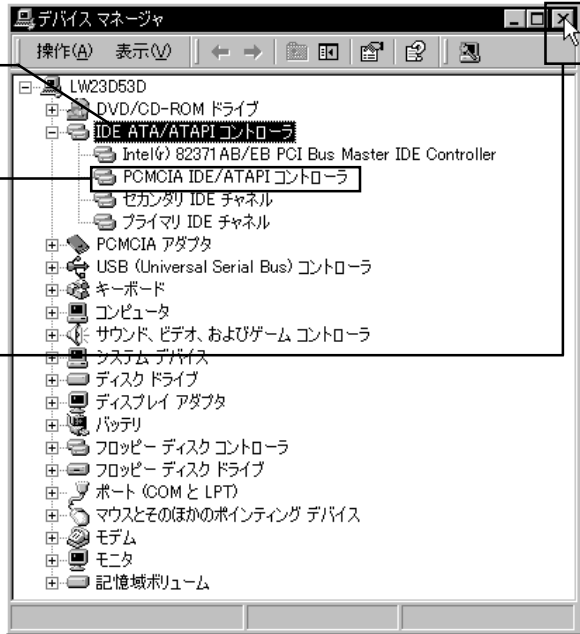
6

接続された機器の一覧表が表示されます。ここで「IDE ATA/ATAPI コントローラ」の下に、「PCMCIA IDE/ATAPI コントローラ」が登録されていることを確認してください。

1. 「IDE ATA/ATAPI コントローラ」をダブルクリックして

2. 「PCMCIA IDE/ATAPI コントローラ」と表示されることを確認

3. 確認できたらクローズボックスをクリック
システムのプロパティも終了してください



以上で作業は終了です。本製品はフォーマット済みで出荷されているため、ここまでの作業が正常に終了すると、「マイコンピュータ」に新規のハードディスクのアイコンが登録されます。

新規のハードディスクのアイコンをダブルクリックすると、本製品にアクセスすることができます。

2.5.2 本製品を取り外す場合

本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

1

本製品が接続されると、画面右下隅のタスクトレイに右のようなアイコンが表示されます。本製品を取り外す場合は、このアイコンをダブルクリックしてください。

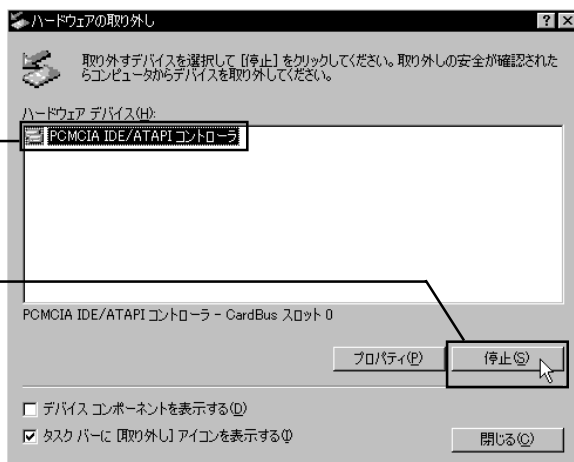


2

以下のようなウィンドウが表示されます。

1. PCMCIA IDE/ATAPI
コントローラが選択さ
れている状態で・・・

2. 「停止」をクリック。



3

「ハードウェアデバイスの停止」のウィンドウが表示されますので、OK ボタンをクリックしてください。

4

本製品を安全に取り外すことができることを示すメッセージが表示されますので、OK ボタンをクリックして、本製品を取り出してください。

2.5.3 本製品を再フォーマットしたい場合は

本製品はフォーマット済みの状態で出荷されていますので、通常の場合フォーマットは必要ありません。もし何かの原因で本製品を再フォーマットし、出荷時の状態に戻したい場合は以下の手順に従ってください。

！ ご注意

- ・フォーマットを行うと、本製品に保存されたデータはすべて失われ、復旧することはできません。必要なデータはバックアップしてからフォーマットを行ってください。
- ・本製品のようなハードディスクカードでは、パーティションを分割することはできません。
- ・本製品をフォーマットする場合、システム起動時に管理者権限を持つグループのユーザーとしてログオンする必要があります。

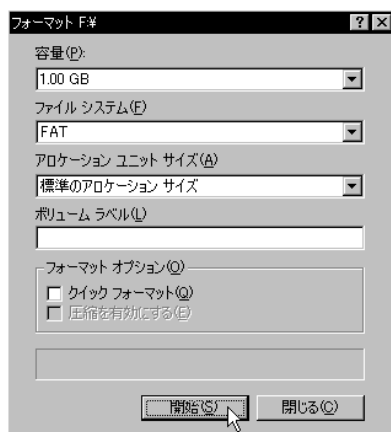
1

「マイコンピュータ」を開いて、本製品のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「フォーマット」を選択してください。



2

右のウィンドウが表示されます。
必要に応じて設定等を行い、「開始」をクリックしてください。



3

フォーマットが開始されます。表示されるメッセージにしたがって作業を行ってください。

2.6 Mac® OS の場合

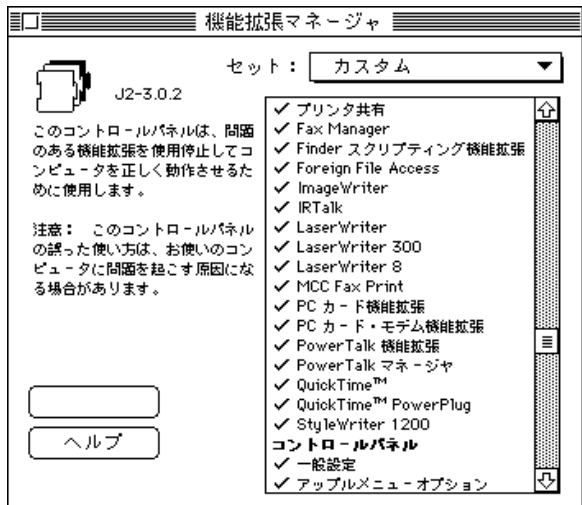
2.6.1 セットアップ方法

PowerBook 500 シリーズの場合

これらの機種では、「PowerBook 500 シリーズ用 PCMCIA 拡張モジュール」が必要です。拡張モジュールのパソコン本体への装着、および PC カードサポートソフトウェアのインストールを行ってください。詳細は、拡張モジュール付属の取扱説明書をご参照ください。

PowerBook 190,1400,5300 シリーズの場合

アップルメニューから、「コントロールパネル」をクリックして、「機能拡張マネージャ」アイコンをダブルクリックしてください。「機能拡張マネージャ」のウィンドウが表示されますので、「PC カード機能拡張」および「PC カード・モデム機能拡張」にチェックがついていることを確認してください。チェックがついていない場合は、チェックをマークしてパソコンを再起動してください。



PowerBook 2400,3400,G3 シリーズの場合

アップルメニューから、「コントロールパネル」をクリックして、「機能拡張マネージャ」アイコンをダブルクリックしてください。「機能拡張マネージャ」のウィンドウが表示されますので、「PCカード機能拡張」にチェックがついていることを確認してください。チェックがついていない場合は、チェックをマークしてパソコンを再起動してください。



上記以外の機種の場合

本製品を認識可能なドライバが標準インストールされていますので、本製品を接続するだけで使用することが可能です。

2.6.2 本製品の接続とアクセスについて

本製品をPCカードスロットにセットすると、デスクトップ上に以下のアイコンが表示されます。



各 OS 上でこれらのアイコンをダブルクリックすると、本製品にアクセスすることができます。

2.6.3 本製品を取り外す場合

本製品を取り外す場合には、必ずアンマウントを実行してください。アンマウントは以下のいずれかの方法で行います。

- ・デスクトップ上のアイコンをゴミ箱のアイコンに重ねる。
- ・デスクトップ上のアイコンをクリックして選択状態にして、「特別」メニューの「取り外し」を選択する。
- ・デスクトップ上のアイコンをクリックして選択状態にして、キーボードから「アップル+E」キーを入力する。



ご注意

パソコン本体がスリープ状態にある時には、本製品のイジェクトは行わないで下さい。

2.6.4 初期化について

本製品は、デスクトップ上でハードディスク(デフォルト)としてマウントされます(*1)。ディスクの初期化を要求する画面が表示された場合は、画面表示にしたがって初期化を実行してください。

*1 Mac OS X 10.2以降の場合はPCカードのアイコンでマウントされます。

第3章

トラブルシューティング

3.1 動作しないときには

パソコン本体が本製品を認識しない。

接触不良などの可能性がありますので、本製品を一度取り外して、PCカードコネクタにゴミなどが付着していないことを確認してください。再装着の際にはしっかりとPCカードスロットの奥まで本製品を差し込んでください。

PCカードスロットが複数ある場合は、接続するスロットを変えて試してみてください。

LPM-HD5G を接続したが、

Windows 95上から認識されない。

Windows 95の初期 / aバージョンを使用していませんか？
Windows 95の初期 / aバージョンでは1パーティションの容量の問題から LPM-HD5Gを使用することはできません。

Windows XP , 2000 で

本製品の再フォーマットができない。

Windows XP ,2000ではハードディスクのフォーマットを行う場合、システム起動時に管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

ノートパソコンのバッテリーのもちが悪くなった。

本製品はPCカードスロットからの電源供給を受けて動作します。そのため、本製品装着時にはノートパソコンのバッテリーの消耗が早くなりますので、なるべくノートパソコンにACアダプタ等を接続してご使用ください。

その他：ソフトウェアの最新バージョン入手方法など

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーもありますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

ハードウェア仕様

機種名		LPM-HD1G	LPM-HD2G	LPM-HD5G
記憶容量		1GB	2GB	5GB
ディスク回転数		4200rpm		3990rpm
平均シークタイム		15ms		
キャッシュメモリ		256KB		
耐衝撃性	動作時	150G		
	保管時	1,000G		
環境条件 *1	動作時		パソコン本体に準じる	
	保管時	温度	-20 ~ 50	
		相対湿度	10% ~ 90%	
入力電圧		DC+5V ± 5% , DC3.3V ± 5%		
消費電流	動作時	400mA	390mA	
	待機時	160mA	150mA	
	スリープ時	20mA	15mA	
外形寸法 縦×横×厚さ		85.6×54×5mm		
重量		約55 g		

*1 ただし結露なきこと。

Memo

Memo

Memo

Memo

